

Legacy X Revolution X Result

# Le-volt レポート

DAISAN

※ 新型足場「レポート」製品カタログ

## 受け継がれたDNA

布材はビケ足場と同様の施工方法が可能な設計の新型足場。ビケ足場のクサビが設置可能で、並列になった支柱ポケット。それにより作業床等の段差をフラットに。布材に抜け止め金具を付属して抜け止めが確実になりました。中高層物件を始め、現場のニーズにお応えします。

### STRONG POINT 01

#### ビケ足場と同じ作業動作で抜け止めを実現

レポートは、ビケ足場と同じ作業動作で施工することが出来る構造です。従来の慣れ親しんだ動作で、作業効率を下げることがありません。他の新足場のように作業動作を変えていくという声を聞き取ることができました。

### STRONG POINT 02

#### 抜け止め構造で緊結が容易に打ち込み回数・騒音を低減

レポートは、緊結を自動挿入出来るようになりましたので、より確実な緊結を簡単に行うことが可能となりました。このことにより、無駄な打ち込みが激減し打ち込み回数も少なくなることで騒音も削減することが出来ます。

### STRONG POINT 03

#### 支柱ポケットのフラット化で作業床の段差を解消

レポートは、支柱ポケットをフラット化することにより、作業床が平らになる事で倒れていた段差が無くなりました。このことにより、作業者の通行性が向上し、より安全に作業を行う事が出来ます。

### STRONG POINT 04

#### 支柱ジョイントに外付けロック金具 大組・大バラシが容易に

支柱ジョイントに、真鍮製のロック金具を付属することで、大組・大バラシが容易になりました。緊結が、真鍮製のクサビのみでは十分な強度が確保出来ず、地震時等に耐えられず、より安全に作業を行うことが出来ます。

### STRONG POINT 05

#### L型軸木との組み合わせで通行性・安全性が向上

L型軸木と組み合わせることで、すき目が少なく、歩の落下防止にも繋がります。

### STRONG POINT 03

#### 支柱ポケットのフラット化で作業床の段差を解消

レポートは、支柱ポケットをフラット化することにより、作業床が平らになる事で倒れていた段差が無くなりました。このことにより、作業者の通行性が向上し、より安全に作業を行う事が出来ます。

### STRONG POINT 05

#### 先行手すりに、より安全な4点抜け止めを採用

レポートはより先行手すりを標準仕様・標準工にしています。先行手すりは4点抜け止めを有しており、より安全に作業を行うことが出来ます。

### STRONG POINT 04

#### 支柱ジョイントに外付けロック金具 大組・大バラシが容易に

支柱ジョイントに、真鍮製のロック金具を付属することで、大組・大バラシが容易になりました。緊結が、真鍮製のクサビのみでは十分な強度が確保出来ず、地震時等に耐えられず、より安全に作業を行うことが出来ます。

### STRONG POINT 05

#### L型軸木との組み合わせで通行性・安全性が向上

L型軸木と組み合わせることで、すき目が少なく、歩の落下防止にも繋がります。

# 株式会社ダイサン

大組大バラシ イメージ図

大組大バラシ用吊り上げ金具

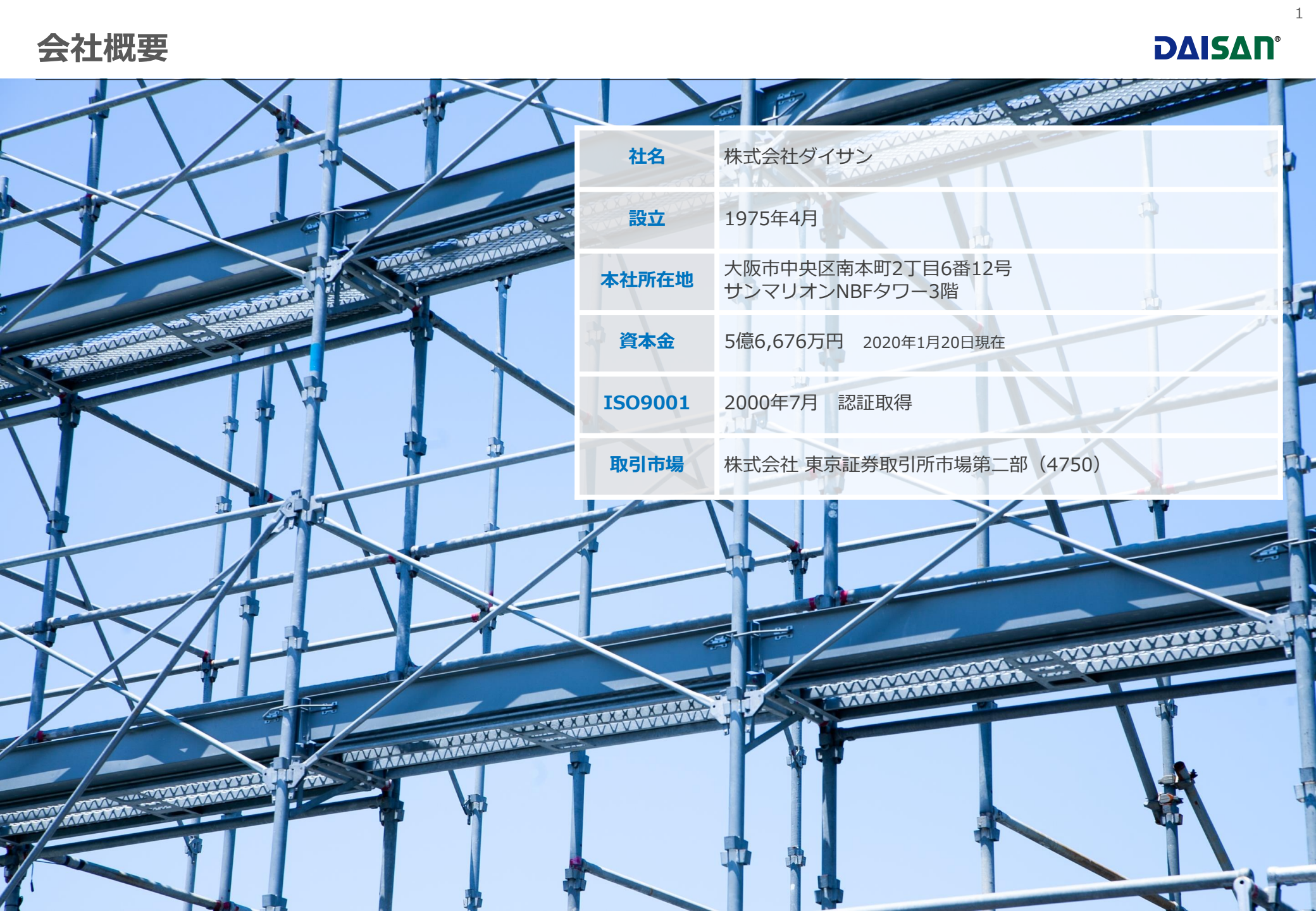
先行手すりLXAの組立

## 2020年4月期 第3四半期 決算補足説明資料

吊り上げ金具等は、必ず弊社またはL&S社より取扱い、メーカーシート等をお客様にはお付けいたしております。

標準仕様と異なる場合があります。

掲載がなくてもメーカー・得意先等が別添付資料等でのご説明をしております。掲載内容が変更された場合は、こちらにて随時随時ご報告いたします。



<b>社名</b>	株式会社ダイサン
<b>設立</b>	1975年4月
<b>本社所在地</b>	大阪府中央区南本町2丁目6番12号 サンマリオンNBFタワー3階
<b>資本金</b>	5億6,676万円 2020年1月20日現在
<b>ISO9001</b>	2000年7月 認証取得
<b>取引市場</b>	株式会社 東京証券取引所市場第二部 (4750)

## 2020年4月期から新たに海外事業を追加

第1四半期連結累計期間における当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、Mirador Building Contractor Pte. Ltd.の株式を取得したことにより、「海外事業」を新たに追加しております。これにより、第1四半期会計期間より同社を連結対象として、連結決算を開始いたしました。

連結範囲

従来の事業範囲

株式会社ダイサン



### ■ 施工サービス事業

ビケ足場等を使用した設計、施工サービス



### ■ 製商品販売事業

ビケ足場、枠組み足場及び単管足場用仮設機材の開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売



2019年5月10日取得

Mirador Building  
Contractor Pte. Ltd.



### ■ 海外事業

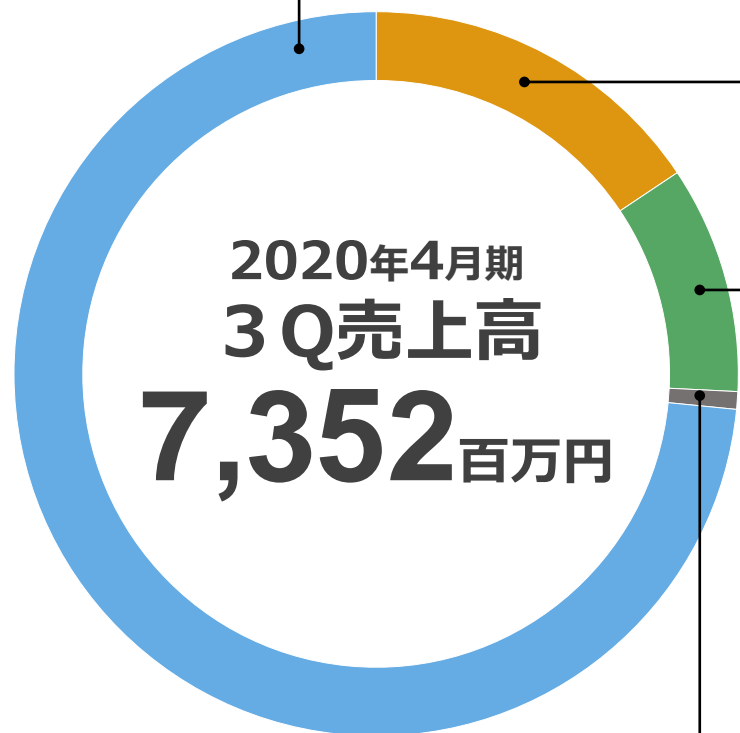
シンガポールにて主にプラントのメンテナンス向けに、足場工事を中心とした熱絶縁工事や電気工事などの付帯工事を受注する事業を展開

# 第3四半期 業績概要

(単位：百万円)

	非連結			連結
	前期3Q実績	当期3Q実績	前期同期比	当期3Q実績
売上高	6,164	6,509	+345	7,352
売上原価	4,122	4,425	+303	5,062
売上総利益	2,042	2,084	+42	2,289
販管費	1,677	1,784	+107	2,112
営業利益	364	299	△64	※177
経常利益	370	305	△65	177
四半期純利益	223	194	△29	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	—	—	—	66

※ 2019年5月10日にMirador Building Contractor Pte. Ltd.の株式を取得し、子会社化したことによるアドバイザー費用等の101百万円を一時に販売費及び一般管理費に計上しております。



## 73.2% 施工サービス事業

ビケ足場等を使用した設計、施工サービス



## 14.5% 製商品販売事業

ビケ足場、枠組み足場等足場用仮設機材の開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売



## 11.5% 海外事業

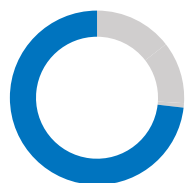
シンガポールにて主にプラントのメンテナンス向けに、足場工事を中心とした熱絶縁工事や電気工事などの付帯工事を受注する事業を展開

## 0.8% その他

業務受託及び保険代理店ほか

# 第3四半期 業績概要 施工サービス事業

セグメント情報



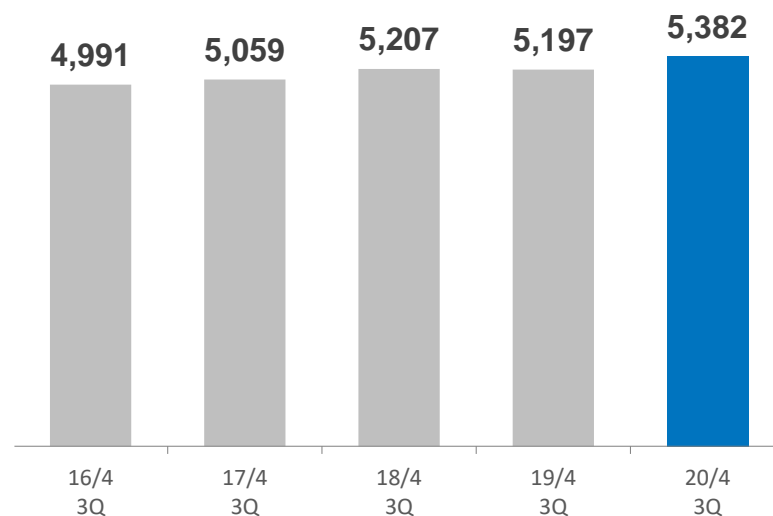
売上構成比  
73.2%

(単位：百万円)

	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
売上高	5,197	5,382	+185	103.6%
売上総利益	1,752	1,773	+20	101.2%

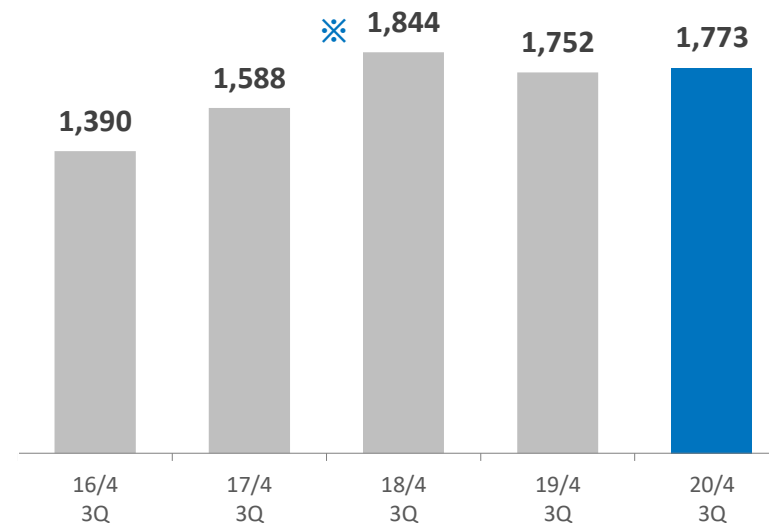
(単位：百万円)

## 売上高

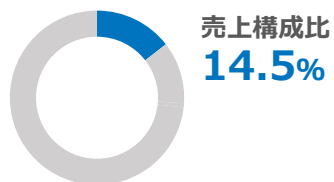


(単位：百万円)

## 売上総利益



※ 2016年8月 営業基盤の拡大とお客様対応力強化を目的に、施工管理担当者を営業担当者へ転換させたことにより、売上原価が減少し、販管費が増加しております。

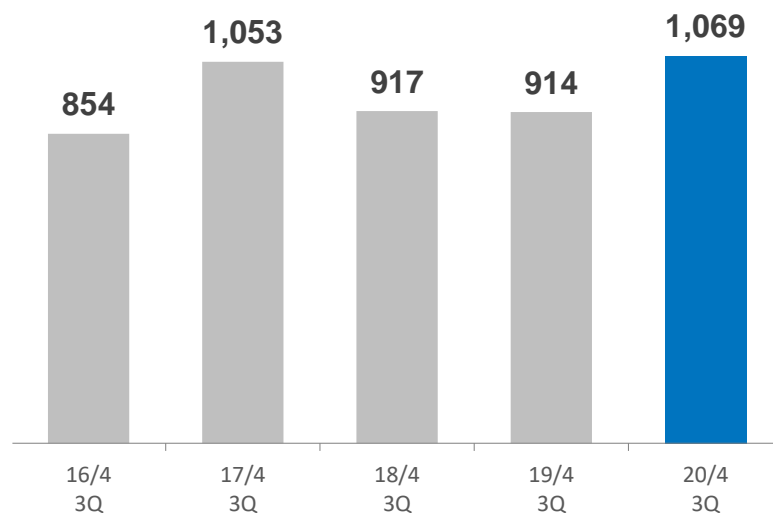


(単位：百万円)

	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
売上高	914	1,069	+155	117.0%
売上総利益	259	271	+12	104.7%

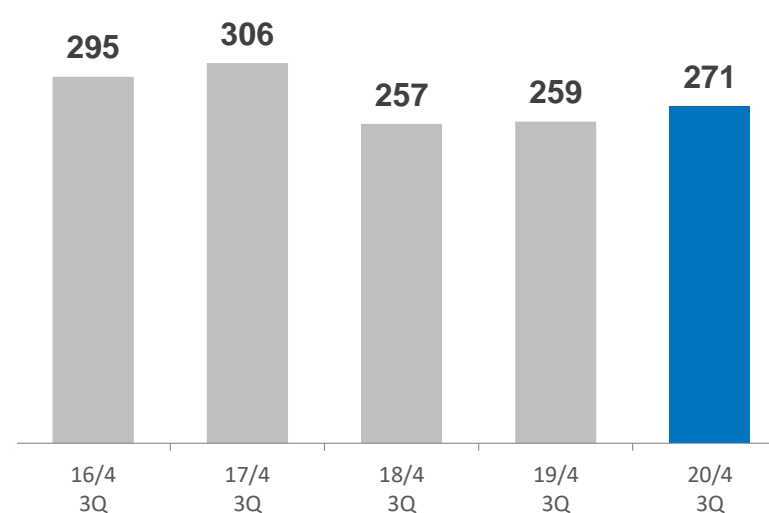
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

売上総利益





(単位：百万円)

	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
売上高	—	842	—	—
売上総利益	—	205	—	—

- ※ 1 2020年4月期よりセグメントに海外事業部を追加しているため、対前期差額及び前期比を記載しておりません。
- ※ 2 子会社化の時期の関係上、連結対象となる月数は8ヵ月間となります。

海外事業につきまして、在外子会社「Mirador Building Contractor Pte. Ltd.」のあるシンガポールでは、米中貿易摩擦の影響が継続し、当第3四半期連結期間末の時点で、新型コロナウイルス流行に対する懸念が拡がりました。

このような中、子会社においては引き続き小規模な工事が増えました。また、これまで石油化学プラント向けの工事や人材派遣が中心でしたが、今後を見据え、事業領域の拡大を目論み、建設向け足場工事の受注獲得に向けた取り組みとして、12月度に公共事業を請け負うための足場工事の登録を致しました。さらに、既存事業の受注量拡大と業務の効率化を図るため、多数の化学工場が集まるジュロン島内にて新たな事業拠点を設ける計画を進めました。





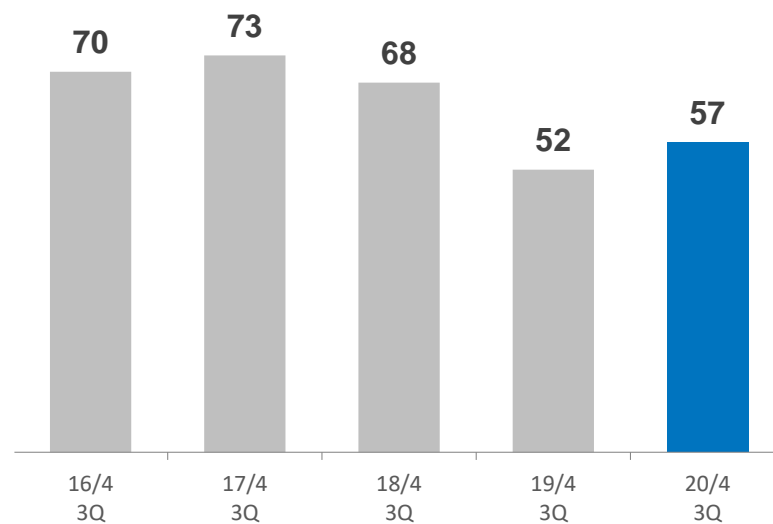
(単位：百万円)

	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
売上高	52	57	+4	108.6%
売上総利益	29	39	+9	131.0%

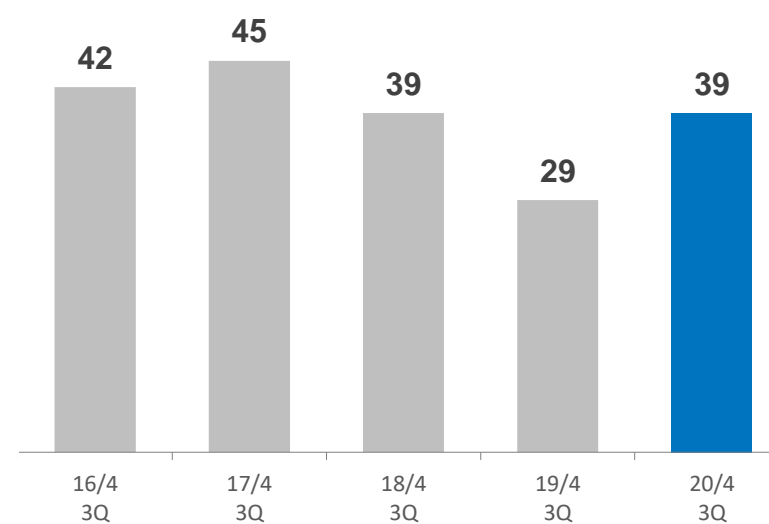
(単位：百万円)

(単位：百万円)

## 売上高

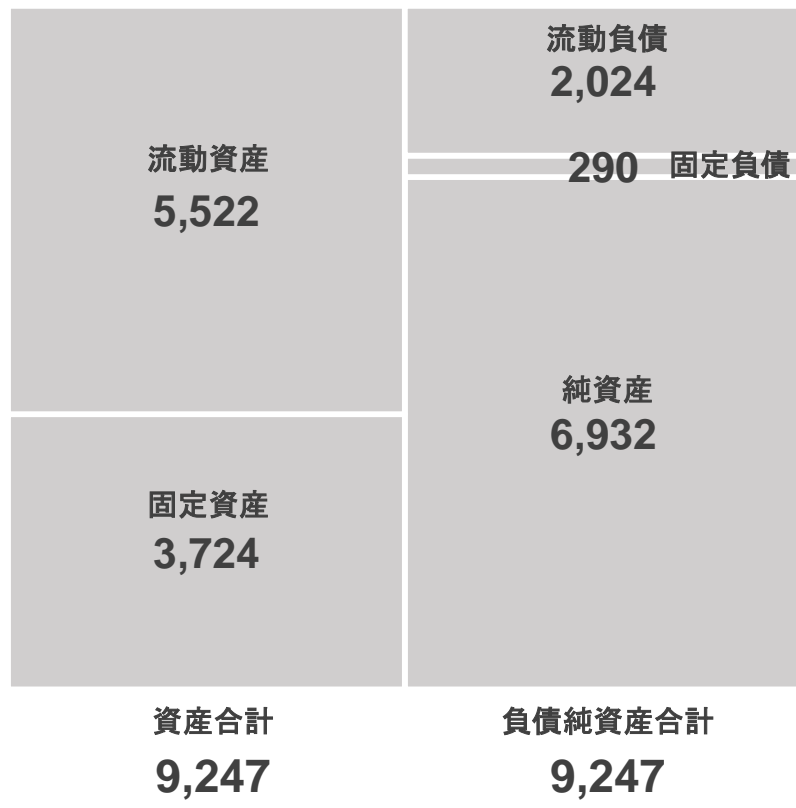


## 売上総利益



(単位：百万円)

## 前期末 (参考：非連結)



自己資本比率  
一株当たり純資産

75.0%  
1,080.97円

(単位：百万円)

## 当期3Q (連結)

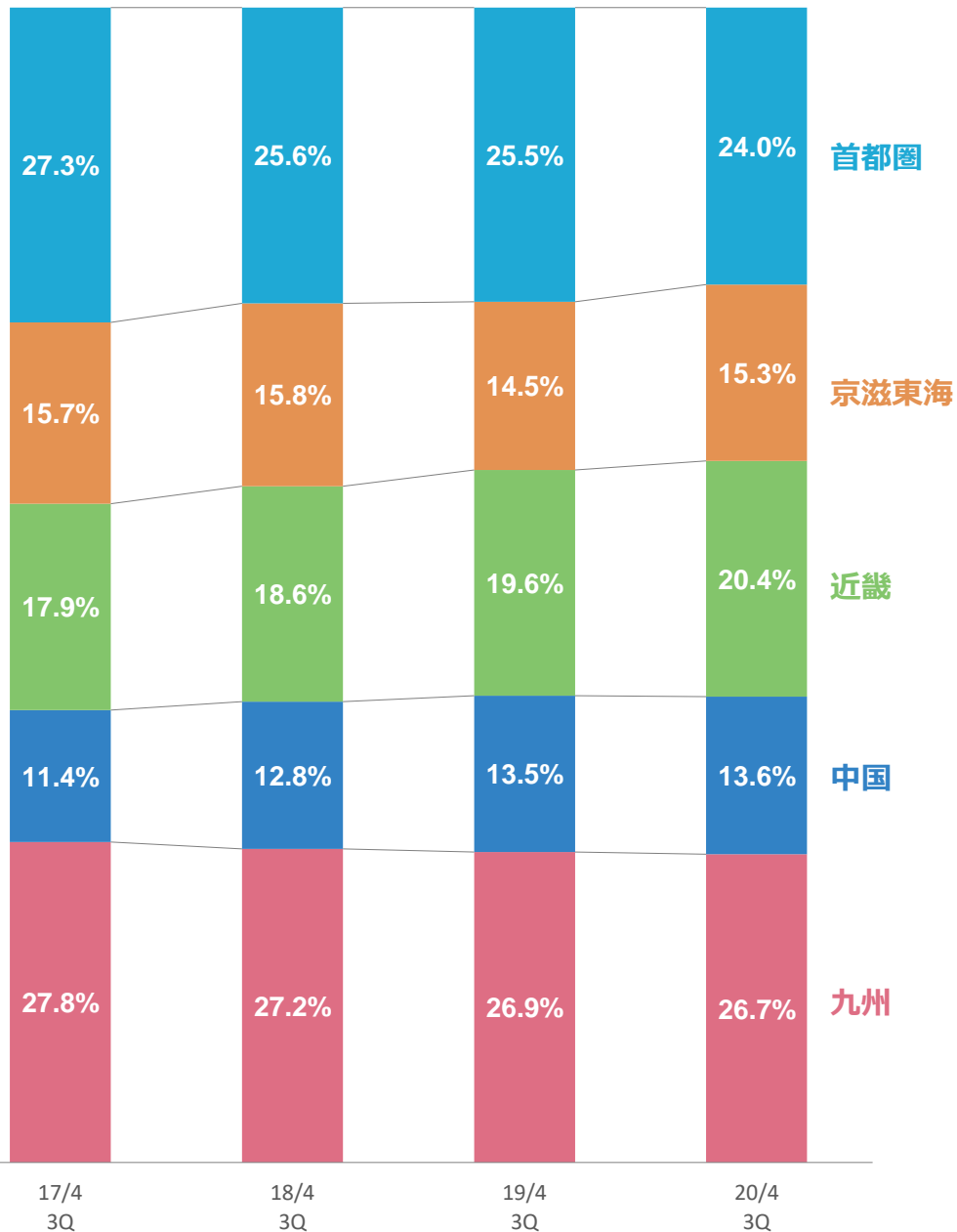


自己資本比率  
一株当たり純資産

65.7%  
1,067.87円

# 施工サービス事業 エリア別売上高

セグメント情報



## 施工サービス事業における 当事業年度の主な設備の異動

● 2020年 1月

中国

### 岡山SC移転

生産力、および営業力強化を  
目的に移転

# 施工サービス事業 商品別売上高

**DAISAN<sup>®</sup>**

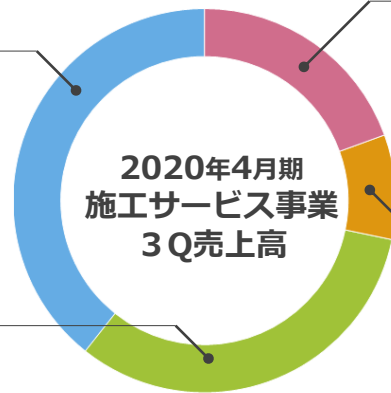
セグメント情報


**注文住宅 41.3%**

主に施主様が土地を購入し、  
建物を建築する際の足場  
※1棟の受注が多い


**リフォーム 28.4%**

増改築工事、外装工事などの  
リフォーム現場向け足場


**大型建築物 21.8%**

マンション、工場、店舗などの  
大型建築物向け足場

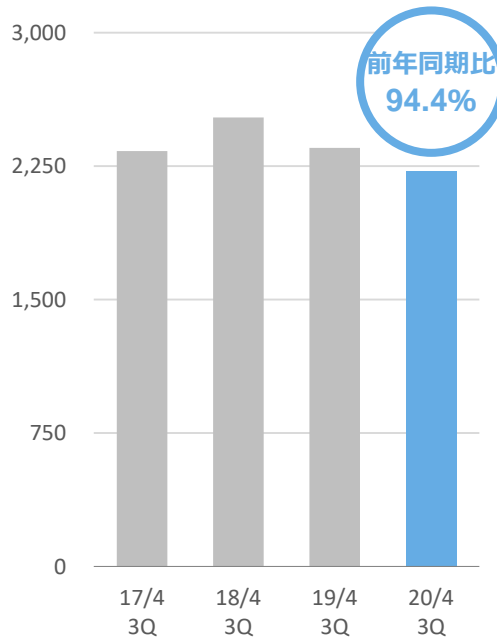

**分譲住宅 8.5%**

主に不動産会社が土地を購入し、  
建物を建築する際の足場  
※複数棟の受注が多い


 中期経営計画  
重点取組み

## 注文住宅

(百万円)



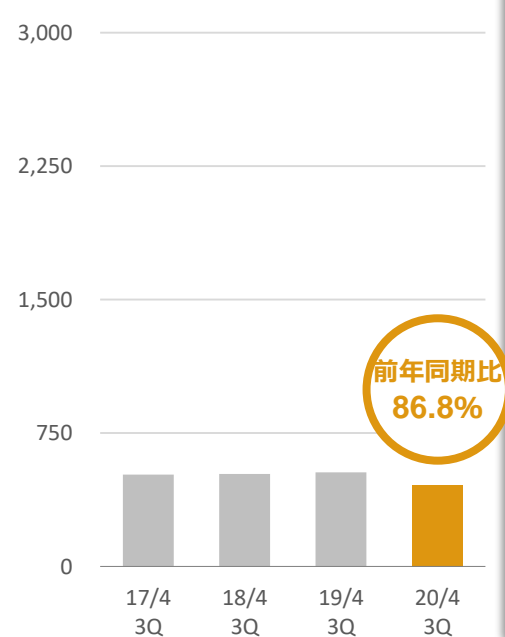
## リフォーム

(百万円)



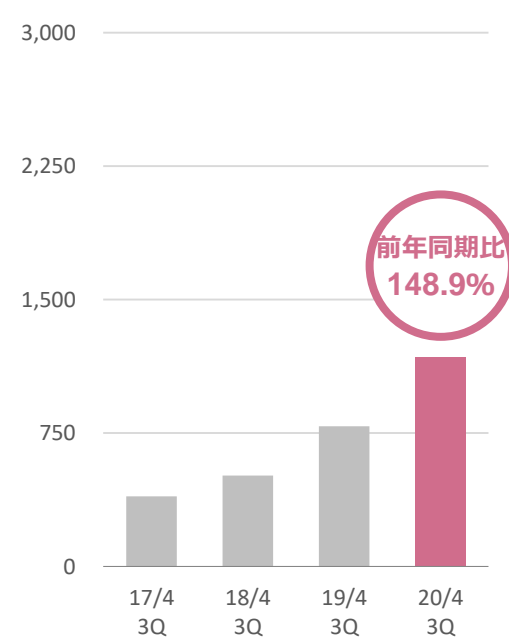
## 分譲住宅

(百万円)



## 大型建築物

(百万円)



(単位：百万円)

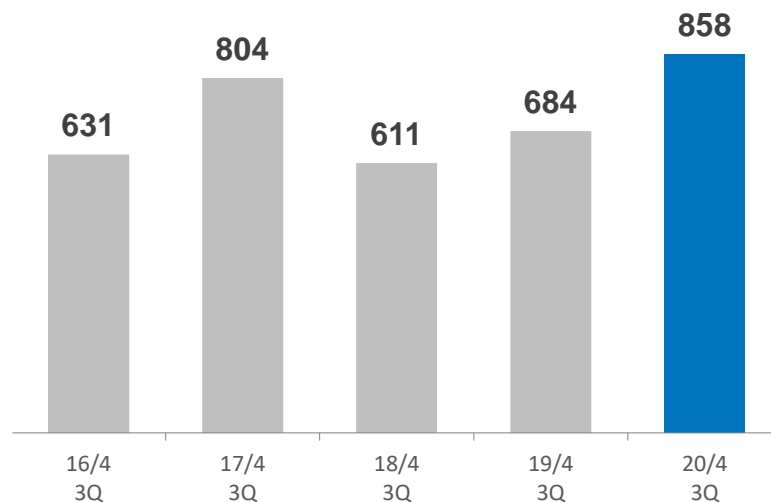
	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
※ 1 ビケ部材等	684	858	+174	125.5%
※ 2 一般仮設	229	210	△19	91.5%

※1 当社が製造する「ビケ足場」の各種部材他、新型足場

※2 ビルなどの中高層建築工事や橋梁などの土木工事で使われる一般仮設材

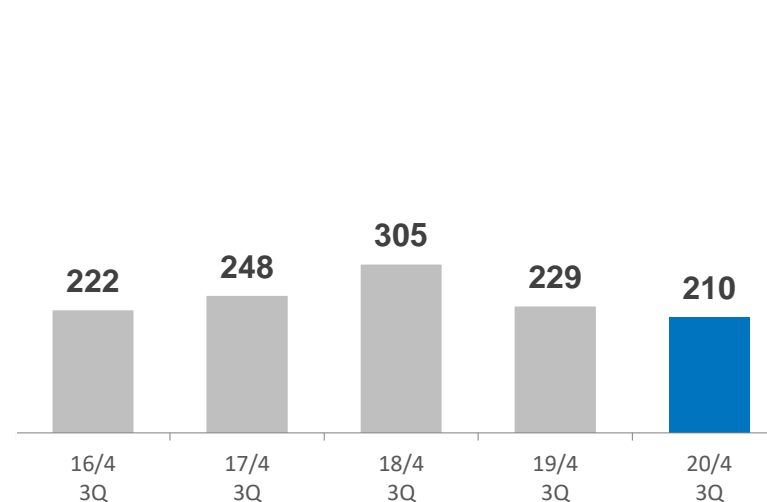
(単位：百万円)

## ビケ部材等



(単位：百万円)

## 一般仮設



# 当期の見通し 業績予想

最近の業績動向を踏まえ、2020年3月3日開催の取締役会において、  
2019年5月31日に公表した2020年4月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせ致します。

2020年4月期通期の連結業績予想につきましては、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなったため、修正いたします。

修正の主な要因として、当社に関連の深い住宅業界については、新設住宅着工戸数が当社の想定を大きく下回る中、戸建て向け足場の工事受注量が大きく減少いたしました。

セグメント別では、施工サービス事業において、請負契約の施工スタッフの雇用安定と働き方改革に伴う適切な休暇の取得などによる定着化、並びに社員数増加による外国人技能実習生の受入れ枠拡大を目論み、社員への転換を早期に進めたことから、施工原価となる人件費が増加いたしました。また、中層大型建築物向け足場工事の受注量を増やすため、新型足場「レポルト」の社内投入を先行して実施したことから、施工原価が増加いたしました。

製商品販売事業においては、消費税増税後の市況の悪化を受け、主要顧客からの受注が大きく減少したことから、売上の伸びが鈍化いたしました。また、新製品である「レポルト」の生産効率を上げるため、工程の改善コストが増加いたしました。

これら第3四半期間の状況に踏まえ、新型コロナウイルスの経済的影響が第4四半期間も継続し、工事現場に与える影響が不透明であることから、新設住宅着工戸数の改善が想定し難いと判断いたしました。しかしながら、来期を見据え、人材と足場部材への投資は積極的に続けることにいたしましたので、従来の業績予想を修正することといたします。

(単位：百万円)

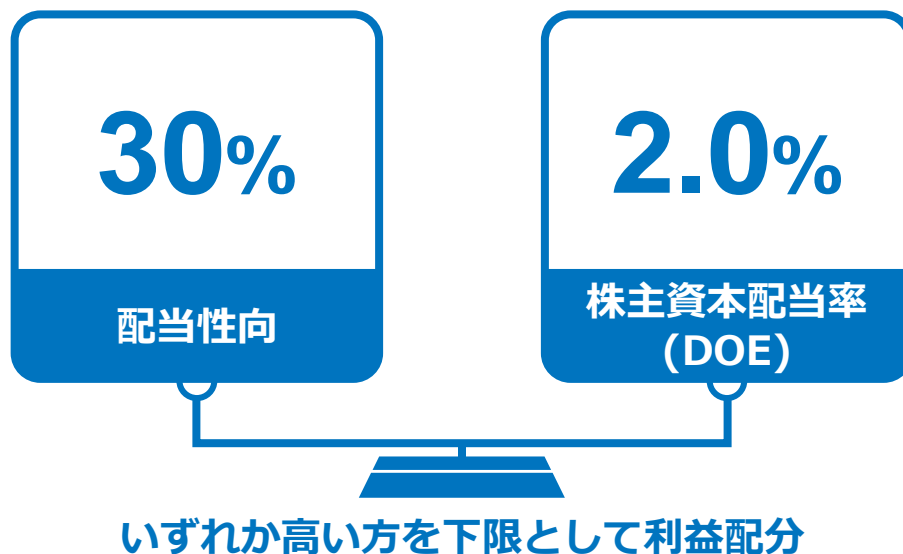
	金額		前期差額	前期比
	19/4期実績 (参考：非連結)	20/4期予想 (連結)		
売上高	8,506	9,600	—	—
営業利益	608	250	—	—
経常利益	616	250	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	396	170	—	—

(注) 1. 当社は、2020年4月期より連結決算を開始しているため、対前期差額及び前期比を記載しておりません。

## 配当方針

当社は、株主の皆様への利益還元と業績を拡大していくための内部留保とのバランスを考慮し、適切な配当を行う事を基本方針としております。なお、内部留保金につきましては、継続的な業績の伸張を図るため、事業拡大と経営基盤の強化に対し、重点的に投資を行ってまいります。

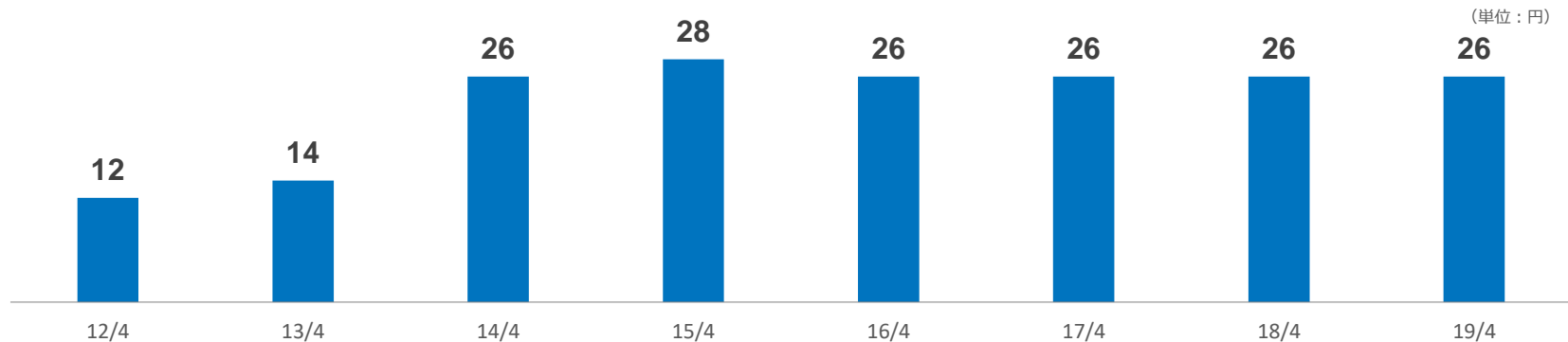
当期におきましては、企業価値の向上と株主の皆様への還元の結びつきをより明確にできるよう、配当性向30%、もしくは株主資本配当率（DOE）2.0%のうち、いずれか高い方を下限として利益配分させていただくことを基本方針といたします。



これらの方針により、当期の配当金は、中間13円、期末13円の1株当たり年間配当金26円とさせていただく予定であります。なお、株価の動向、経営環境の変化等を考慮した上で、適宜、自己株式の取得を検討してまいります。

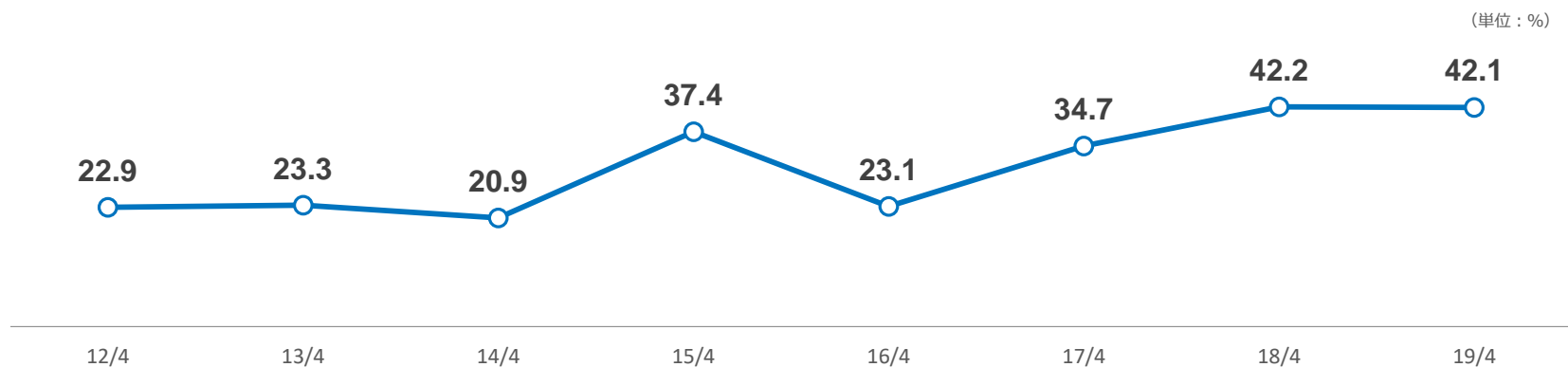
# 当期の見通し 配当方針

## 1株当たり 配当金

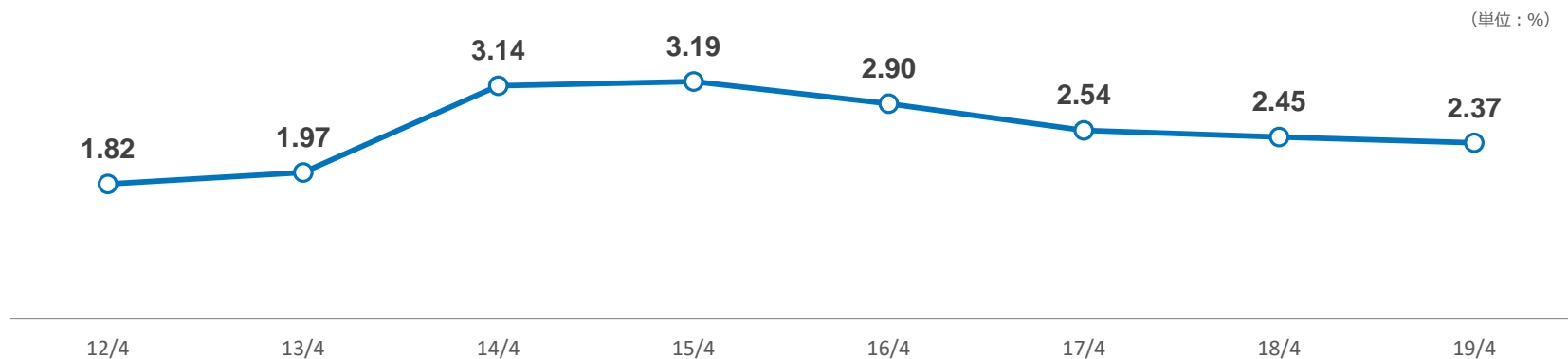


15/4期は、設立40周年記念配当2円を含めて記載しております。

## 配当性向



## 株主資本配当率 (DOE)



株主資本については、配当による流出前の値を使用しております。



## 参考資料

DAISAN®

	14/4 (3Q) 非連結 (百万円)	15/4 (3Q) 非連結	16/4 (3Q) 非連結	17/4 (3Q) 非連結	18/4 (3Q) 非連結	19/4 (3Q) 非連結	20/4 (3Q) 連結
売上高	6,668	5,706	5,916	6,186	6,194	6,164	7,352
売上原価	4,405	3,935	4,188	4,246	4,053	4,122	5,062
売上総利益	2,262	1,770	1,728	1,940	2,140	2,042	2,289
販売費及び一般管理費	1,134	1,136	1,221	1,407	1,633	1,677	2,112
営業利益	1,127	633	506	533	506	364	177
経常利益	1,173	659	538	545	516	370	177
当期純利益	701	396	646	347	298	223	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	-	-	-	-	-	-	66

	14/4 非連結 (百万円)	15/4 非連結	16/4 非連結	17/4 非連結	18/4 非連結	19/4 非連結	20/4(3Q) 連結
総資産	9,643	9,107	7,980	7,939	8,291	9,247	10,418
たな卸資産	530	423	503	529	453	586	797
流動資産	6,043	5,043	5,241	4,828	5,027	5,522	5,416
固定資産	3,600	4,064	2,739	3,111	3,264	3,724	5,001
流動負債	2,324	1,412	1,620	1,288	1,400	2,024	2,033
固定負債	638	562	221	194	185	290	1,380
自己資本	6,680	7,131	6,138	6,457	6,705	6,932	6,848
資本合計/純資産合計	6,680	7,131	6,138	6,457	6,705	6,932	7,004
資本金	566	566	566	566	566	566	566
負債・純資産合計	9,643	9,107	7,980	7,939	8,291	9,247	10,418

※ 20/4月期より連結決算を開始しております。

## ご注意

本資料の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

この資料で提供される全ての情報は、著作権法およびその他の法律により保護されています。無断での引用や転載、複製は禁じられています。